

平成25年7月11日に群馬県伊勢崎市及び太田市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月11日18時頃に群馬県伊勢崎市境下湊名(さかいしもふちな)から太田市新田上江田町(にったかみえだちょう)と太田市只上町(ただかりちょう)から東新町(ひがししんまち)にかけて突風が発生し、樹木の幹折れや倒木、非住家の倒壊などの被害が発生しました。

前橋地方気象台は、7月12日、この突風現象の調査のため職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 伊勢崎市境下湊名から太田市新田上江田町

① 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・ 渦の目撃や耳に異常を感じた等の竜巻を示唆する情報は得られなかった。
- ・ 被害や痕跡から推定した風向分布に発散性がみられた。
- ・ 突風は強雨やひょうを伴っていたという証言が複数あった。

② 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 非住家トタン屋根の一部飛散があった。
- ・ 根の浅い倒木があった。

(2) 只上町から東新町

① 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・ 渦の目撃や耳に異常を感じた等の竜巻を示唆する情報は得られなかった。
- ・ 突風は強雨やひょうを伴っていたという証言があった。
- ・ 被害や痕跡から推定した風向分布に明瞭ではないが、発散性がみられた。

② 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF1と推定した。

(根拠)

- ・ 直径60cm程度の樹木の幹折れが複数あった。

※この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日、内容の一部訂正や追加をすることがあります。